

HIMATSUBUSHI TIMES

2023.10.7 sat

NO.6

why me? を応援してくださるすべての方へ

本日は『why me?』vol.6にお越しいただきまして誠にありがとうございます。

本誌は上演前の暇潰し、もしくは上演後の余韻浸りにご活用ください。

本日の終演時間は18時30分を予定しておりますが、ゲストの方からアフタートークへの出演の許可をいただいた場合は19時頃になります。ご了承くださいませ。

今日という日が皆様にとって特別な一日になりますように。

『why me?』スタッフ一同

注意事項

本日は『why me?』vol.6にお越しいただきまして誠にありがとうございます。開演に先立ちまして皆様にご挨拶をさせていただきます。

客席での飲食・喫煙・録音・許可のない動画撮影などの迷惑行為はご遠慮ください。

非常時の際は係の者が出口までご案内いたします。どうぞご安心ください。

本公演のゲストを選ぶタイミングで長澤が客席まで降りさせていただきます。ご了承ください。

まもなく開演です。今しばらくお待ちください。



cast

長澤 英知

cast

★ ★ ★

staff

ピアニスト

Kevin McHugh

音響

村岡 正則

照明

上林 悠也

撮影

片岸 佑太

撮影

磯貝 幸毅

照明プランナー

中能 良

カメラマン

横山 一成

アドバイザー

脇村 瞬太

広報・受付

東峰 かおり

舞台監督

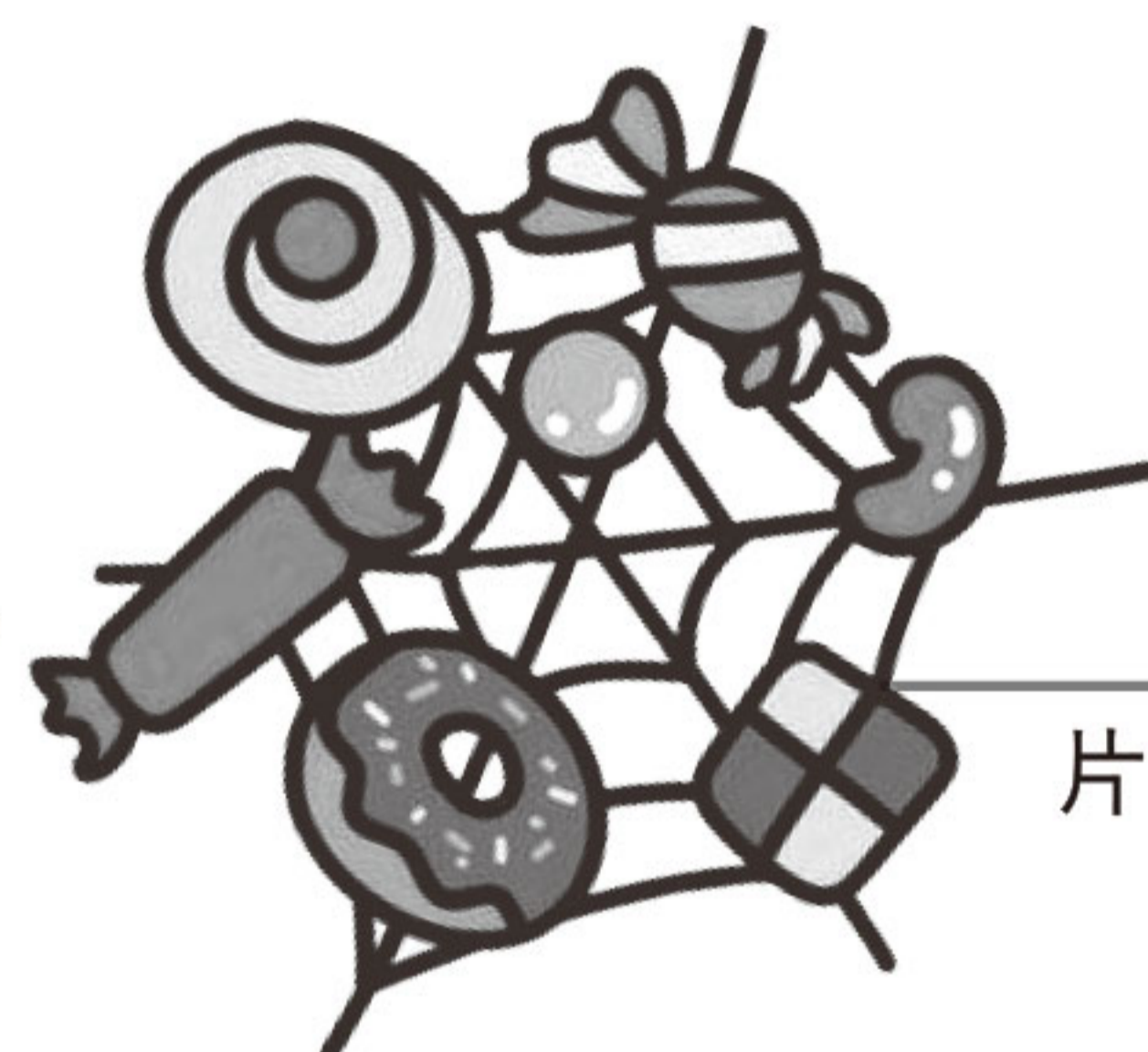
マナティ

★ ★ ★

special thanks

Tokushima family

vol.6の上演にご協力いただきまして誠にありがとうございました



長澤 英知



nagasawa hidetomo

皆さん、こんにちは。長澤です。

本日は『why me?』vol.6のご来場頂きまして誠にありがとうございます。

この記事を書いている9月4日時点で『why me?』史上最多の集客数(70名)となり、過去最多(vol.5時)の64名を超えました。

本当に本当にありがとうございます。

感謝の意を表明する為に、ぼくができる事といえればいざい全裸でこの記事を書く事だけです。

『why me?』を応援してくれているある女優友達から、本番観劇後にこんな事を言われた事があります。

「私にはできない。

面白いし凄いとと思うけど、

英知、なんか焦ってない?」

ぼくは直感的に自分の耳を塞ぎました。いえ、鼓膜を破りました。

ゲストのお客様をケアしなければならぬ...オーディエンスのお客様を楽しませなければならぬ...物語として成立させなければならぬ...

様々な「しななければならぬ」という思考に、ぼくが雁字搦めになっていた事、そしてそれゆえにビビリ、焦っていた事を彼女は見抜いたというわけです。

聴覚を失ったぼくに対し彼女は次の手をうちます。紙とペンで筆談を仕掛けてきたのです。

「英知、なんか焦ってない?」

なんだこの嫌な女は。仮に焦っていたとしてどうなのだ。

怒りが沸々とわいてきます。

しかし女系家族で育ったぼくが女性に手を挙げる事などできません。

ぼくは目を閉じました。

いえ、目玉をくり抜きました。

音と光を失ったぼくに彼女はなお続けます。

指でぼくの背中に「英知、なんか焦ってない?」と書くのです。

闇の住人になったぼくと、それでもコミュニケーションを取ろうとする彼女。

それはさながらサリバン先生とヘレンケラーのよう。しかしどうでしょう。

かのヘレンケラーがサリバンから「water」ではなく「are you in a hurry?」と書かれた場合、ヘレンケラーは前を向いて人生を歩むことができたでしょうか?

ぼくは自身の皮膚をすべて剥ぎました。

嗅覚も味覚も潰しました。

外界からの刺激はもうぼくには届きません。

しかしぼくの中で声がどんどん大きくなるのです。

「なんか焦ってない?」

いくら他者を誤魔化しても自分に嘘はつけません。ぼくは焦っていたのです。

この事に気づくまでに払った犠牲は大きすぎました。

どうすれば焦らずに舞台上に立ち続ける事ができるのか。

ぼくは頭を悩ませ続けました。

食事をしていない時間、寝ている時間、働いている時間。これら以外のすべての時間を費やしました。

何かに焦りながら、怯えながら、ビビりながら行なう創作活動をアートと呼べません。

アーティストたろうとする以上この焦りは邪魔ではないのです。

このお荷物と決別できない以上はぼくは次のステージへ行く事ができません。

完成形は見えています。

「焦る事なく、自分を守る事なく、ただ無防備にステージ上に存在する」

考えるだに恐ろしい事ですが、この壁を乗り越えない限りはぼくはそこら辺にいる4流インプロバイザーと何ら変わらないのです。

1ヶ月後の本番のステージまでに

長澤は1皮剥けられるのか。

そもそも失った五感を取り戻せるのか。どうぞご期待ください。

では、そろそろ服を着たいと思います。

以下、ニュースです。

すべての詳細はQRコードをご参照ください。

即興芝居ワークショップ(初級編)開催!

11月より、即興2人芝居のワークショップ(初級編)を実施いたします。

● 期間: 毎月(1ヶ月単位での参加)

● 頻度: 月3回

● 時間: 1回あたり4時間

● 曜日や時間: 参加者全員と調整

● 人数: 1クラスあたり4~6名

● 場所: 西武池袋線沿い

● 参加条件: なし(経験不問)

● 参加費用: 月1万円

● 内容: 即興で2人芝居を創れるようになるためのワークショップ



『why me?』リハーサル相手募集!

『why me?』では演目内容の性質上、リハーサル相手を常に募集しています。

長澤との面識や演技経験の有無は問いません。

3時間拘束。交通費支給。自薦・他薦問いません。

SNSチーム発足!

日本の新しいエンターテイメント『why me?』を国内外で拡げていく活動を支えてくれる人。セカンドクリエイターを募集します。

「長澤ロスになりそうでならない
ちょっとなる」という稀有な方向け

長澤英知の非公式サイト「hit the spot」

ブログや新情報など不定期で情報を更新しています。

すべての詳細はこちらのQRコードから





vol.5 guest

降幡浩康

様からコメントをいただきました

※音読推奨

『即興芝居、そこにありのままの自分がいる』

友人に誘われて即興芝居『why me?』vol.5を「観劇」しました。

『why me?』は、主宰の長澤英知さんとお客さんの2人だけで行う60分間ノンストップの即興芝居です。

誘われたときは「観劇」予定でした。ただ、私の頭の中で浮かんできたのは、自分が舞台上立って演じているイメージでした。かなり鮮明に、その場にいる自分、それにもこやかに演じている自分の姿がありました。

最初のアンケートの「出演してもいいですか?」の質問には、迷わず〇をしました。

とはいえ、たくさんのお客様がいたので選ばれるの難しいだろうなあとも思っていました。

プログラムが始まり、演者選びが始まります。「今日出ても良い人!」と手を上げてもらい、

長澤さんが客席に降りて、一緒にやってくれる人を探します。「ちょっと目につきました!」と

言って私の近くに来て、「今から舞台に出ても良いですか?」と聞かれたので、私は迷わず「はい!」と答えました。

そして、何人かと話をした後、「決めました。今日はそちらの男性にお願いします!」と言って、私を選んでいただきました。

この瞬間、思い描いた「舞台上立っている」妄想が現実になりました!

これまで演劇をしたことなど一度もなく、観客がいる前で舞台上立つなんてどうなるんだろううと思いましたが、実際、舞台上立って観客の皆さんを前にしてみても、それほど緊張するということなく、落ち着いていました。落ち着い

ているというより、とてもワクワクしている自分がそこにいました。

照明が当たり芝居がスタート。さて、自分はどうすればよいのかと長澤さんを見ると、キッチンで料理(演技)をしています。

ああ、そうか、もう演技が始まっているのかあ、と合点がいき、とはいえ、台本があるわけではないので、思いつくままに言葉を掛けます。

その会話の流れから長澤さんがストーリーを作っていきます。

演じながらも、そこにいたのは「普段通りの私」でした。

「演じる」のではなく「ありのまま」という感覚です。

台本がないということは、自分を縛るものはない、逆に拠り所になるものもないので、普段通りの自分でいるしかありません。

即興なのでどのようにストーリー展開していくのかわかりません。

でも、それは日常生活も一緒です。日常生活は笑いあり、怒りあり、涙ありです。

そんな日常の一場面が舞台上で展開されているだけなのです。

芝居が進んでいくと人間関係や状況がちょっとずつ明らかになっていきます。

私が少し冗談めかしてふざけた調子で話をしていると、長澤さんは「もう、いい加減にしろよ!」「ふざけてばかりいないで真剣に聞けよ!」とビシッとやってきます。「これはちょっとふざけすぎたかな」と感じた私はスイッチを切り替えます。この切り替えも普段の「自分」でした。

舞台後、友人に、「舞台上での演技は本音だった

の?」と聞かれました。

舞台上立っているときは、本音だとか演じるとか思ってもいみませんでした。

改めて質問をされると「素のままの自分」だったなあと思います。

「自分自身をさらけ出すことは怖くなかったですか?」という質問も受けました。

私は、あまりそこにこだわりはなく、怖いと思うことはありませんでした。

自分自身をさらけ出すと、恥ずかしさや何か言われるんじゃないかという不安があると思います。

ただ、私は私であり、それ以上でもそれ以下でもない。

もし何かあったとしても、それは自分の責任で対処すればいい。

それで良いと思っています。

即興芝居で舞台上立つ!

このような経験はしたくてもなかなかできません。

もし機会があれば、是非舞台上で輝く自分を思い描いてください。



皆様のお力をお貸しく下さい

『why me?』を拡げていく為に、国内外での認知度を上げていく。その為に皆様のお力を貸していただきたいです。

お願い



本公演終了後ロビーにて、本編の感想やコメントを撮影させてください。撮影動画は広報の用途にのみ使用させていただきます。コメントは絶対に盛ってほしい多少盛っていただいて構いません。

お願い



お願い1が難しい方へのお願いです。皆様各自のお好きなSNSにて『why me?』について感想をご投稿ください。可能であればハッシュタグ『#whyme』を付けていただけると嬉しいです。コメントは絶対に盛ってほしい多少盛っていただいて構いません。

お願い



お願い1も2も難しい方へのお願いです。本日帰宅後、家族の方々に「今日こういうの観たんだよ」と教えてください。なるべく具体的にかつ詳細に。多くは望みません。それだけで構いませんのでコメントは絶対に盛ってくれよな!



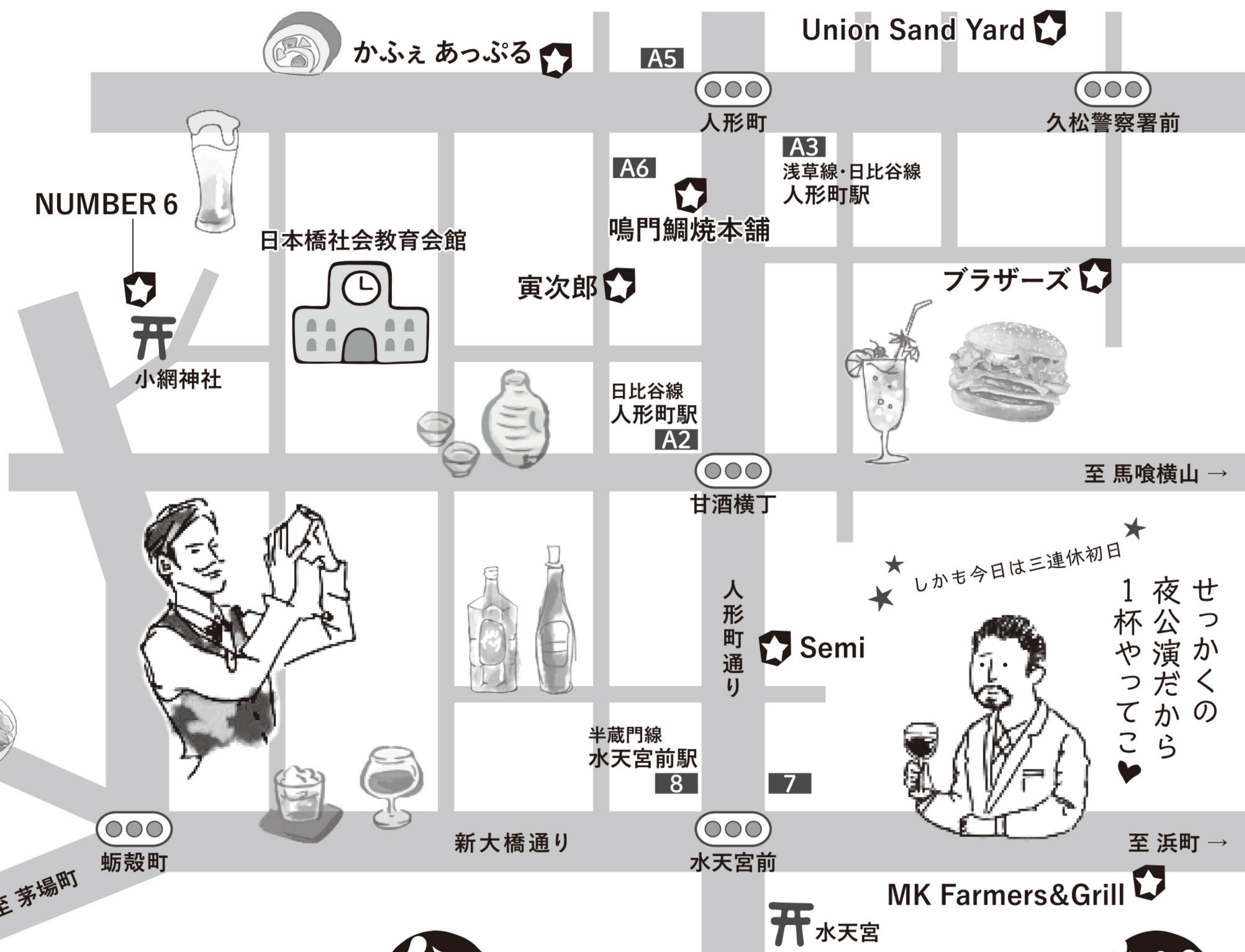
夜のとぼりの人形町MAP

いつか経費で食べられることを夢みるスタッフかおりんが
すべて**自腹**実食でお届けします。

★土曜夜営業のお店を掲載しておりますが、臨時休業の場合はご了承ください。



上記QRコードから
本公演のご感想をお聞かせください



食

Union Sand Yard [自然派ワインと野菜料理]

安心安全で栄養が濃い野菜料理が堪能できる大人気ビストロ。迷ったらまずは「前菜盛り合わせ」を。「ベジタブルカクテル」は野菜ジュースな飲みやすさで危険?!「焼きチーズリゾット」は濃厚で、これだけでも大満足。おかわりOKのパンとバターも手作りのこだわり。デザートは「自家製プリン」をぜひ! その大きさに思わず笑っちゃう♥ ※チャージ料¥400

MK Farmers&Grill [新鮮野菜と炭火焼き峯村牛]

軽井沢の人気レストラン「RK GARDEN」の姉妹店。旬のオーガニック野菜や総理大臣賞受賞の峯村牛を存分に味わえる。「イベリコ豚のグリル」「野菜のアヒージョ」「12時間煮込んだとろけるポロネーゼ」。全国各地の厳選食材をグループでワイワイシェアしたい! ウッディーな店内、美しい盛り付け、スマートな接客。目が♡になるビストロ。 ※チャージ料¥550

買

鳴門鯛焼本舗 日本橋人形町店 [天然たい焼き]

職人が焼型で1匹ずつ丁寧に焼く伝統製法のたい焼き。皮が薄いので表面はパリサクッと軽い食感。大定番の粒餡「十勝産あずき」、THE・芋な「鳴門金時いも」、バニラ党に捧げる「プレミアムカスタード」。迷った時は3種全部買い。それぞれ包み紙が違うのも親切でポイント高し。駅近で22時まで営業しているから、飲んだ後でもフラッと買える♪

Semi [グルテンフリースイーツ]

カラダ喜ぶ無添加・無化調・小麦粉不使用スイーツ専門店。営業時間が月~土26時までって凄すぎる。水天宮という場所柄、安産を願う3種のロールケーキが人気。「anzan 安納芋」「anzan 栗」、桜生地の「iwai」。犬の足跡模様も可愛らしい🐾「とろける甘酒プリン」(¥350込)は自分用にオススメ。プリン、ムース、カラメルの上層仕立てにココロも喜ぶ。

飲

人形町 寅次郎 [福島県地酒と江戸めし]

昼は一夜干定食屋、夜は江戸めしと日本酒。昼も夜もハズレなし!のスタッフご用達のお店。福島県酒造協同組合とコラボし、都内では滅多にお目にかかれない希少な日本酒も多数。レトロなインテリアに掘りごたつ席もあって深酒必須? 「昔なつかしのハムカツ」「谷中のさつま揚げ」「江戸のご褒美たまごふわふわ」...そそられるメニューばかりで困る♥

NUMBER 6 [樽生国産クラフトビールと日本風西洋料理]

東京最強パワースポット・小網神社裏手にある隠れ家的ビアバー。まずは「クラフトビール6種飲み比べ」で自分好みの1杯探しを(3種もあり)。ビール以外の国産酒も充実。「燻製枝豆」「山椒プルドポーク」などアレンジ料理も満足度高くてお酒が進む!! 締めは絶対「なめらか白味噌プリン」🍷 缶ビールと瓶ビールは購入も可。ジャケ買いで手土産にも。

話

ブラザーズ 人形町本店 [グルメバーガー]

兄弟で始めたから「ブラザーズ」。外観も内装も真っ赤!なグルメバーガーの先駆け店。「折りたたみ式レタス」を開発したのもココだそう★そびえ立つ山の攻略に悩むけれど、どこからどう攻めても抜群に美味しいっ! さすが「ハンバーガーランキング全国1位」!! 30種超えバーガー全てフライドポテト、オニオンリング、ピクルス付き。Last Order 21時

かふえ あつぷる [カフェとケーキ]

近隣の珈琲好きが集う喫茶店。壁一面のカップ、クラシックが流れる店内、古材を活用した内装。ただただ落ち着く。日本で最初に炭火焙煎を行った神戸の萩原珈琲の豆使用が1番のこだわりだとか。注文が入ってから豆を挽き、丁寧にドリップされた珈琲は、1人1人カップが違うのも楽しい。奥様手作りケーキも絶品!! Last Order 21時30分